

平成25年度 午さん未さんたちの田作り

～第七期大椎っ子田んぼ・第四期あすみっ子田んぼ 稲刈り編～

猛暑、台風と乗り越えて、立派に育った学校田んぼの稲。田植えしたところは10cmほどの小さな苗が約1mほどに育ち、垂れ下がるほど稲穂となり、たわわに実り、子どもたちも、お米がたくさんついている！とびっくりしていました。

5月14日に田植えをした大椎小は10月3日に、5月27日に田植えをしたあすみ小は10月4日に稲刈りを行いました。子どもたちには鎌の扱いを十分注意することを説明し、ボランティアに来てくださった父兄の方には、鎌を持つ子どもたち一人ずつついでいただきました。最初は恐る恐る、刈っていましたが、最後の方では、手慣れた手つきで稲刈りをしていました。刈った稲をヒモで縛り、学校までかついで持って帰るのも一仕事。みんな、大事そうに稲束を抱えて持って帰りました。

■大椎小学校

☆今日はついに稲刈りをしました。私はこの日をとっても楽しみにしていました。最初に金谷さんからお話がありました。今日も食べ物の大切さを教えていただきました。稲刈りでは、かまを使うのが初めてだったのですごく緊張しました。自然観察では、耳・目・鼻・口・手の五感を使うと教えてもらいました。耳をよくすると、いろいろな鳥の鳴き声が聞こえました。稲刈りも、自然観察もどちらもすごく楽しかったです。早くお米を食べたいです。(M.T)

☆稲が元気に育っていたので、よかったです。稲を刈るときにはお母さん方がいねいに教えてくださったので、安心してやることができました。金谷さんから「米の力」を教えていただいたので、学校に持って帰るまではしっかりと持って帰ろうと思いました。田植えから稲刈りまでできたのは、すべて金谷さんがいたからなので、ありがたいと思いました。(S.M)

☆今日は4ヶ月間育ててきた稲を刈る日でした。稲を刈る時、田植えをした時とはまた違う複雑な気持ちになりました。最初は、何回もかまを動かさないと稲を刈ることができませんでしたが、だんだん慣れてきて、1回で刈れるようになりました。そのときは、ボランティアさんにほめられてうれしくなりました。稲刈りはとても楽しかったです。帰り道、重たい稲をかついで学校に持っていきながら、「もう、あの田んぼには入れないのかな。」と少し悲しくなりました。田んぼの水の冷たさが今でも忘れられません。(Y.K)

*いねかりで、かまを使いました。はじめてのかまだだったので、最初はとてもきんちょうしました。けれど、だんだん慣れていくにつれて、楽しくなってきました。自然観察では今まで見たことのないカエルやカニなどがたくさんいてびっくりしました。田植えや草刈りのときよりも、ハチやヘビなどのきけんな生き物がたくさんいて、こわかったです。(S.O)

☆今日は暑い中、稲刈りをしました。学校でかまの話を聞いて、危険なものなんだと知りました。田んぼで実際にかまをつかってみたら、予想以上にすどかったです。最初は稲がかたくて一人で切ることができませんでした。ボランティアに来てくれた方が手伝ってくれたので、かんたんに安全に刈ることができました。自然観察では、最初、やりたくないないなと思っていましたが、いろいろな生き物を観察しているうちに楽しくなってきました。観察をする田んぼには紫色の稲がありました。かれていると思いました。それは緑米というお米でした。また、稲刈りをしたいです。(C.H)

☆稲を見ると、草刈りをした7月のときよりものびていて、たくさんのお米がついていたので、びっくりしました。稲を刈るためにおそろおそろ田んぼに入ると、水はつめたくてドロがヌメヌメとしていて変な感じでした。カマで稲を刈る時、かたくてなかなか刈ることができませんでした。このお米はぜったいにおいしくなると思いました。なぜなら、愛情をこめてつくったからです。(O.A)

☆私は初めて稲刈りをしました。谷津田の田んぼに入るのは2回目。なんだか田植えの時よりも、田んぼが冷たいような気がしました。かまを持って田んぼに入り、稲を刈り始めましたが、なかなか刈ることができませんでした。コツをつかむとつぎつぎに刈ることができました。みんなで育てた稲がどのくらいおいしいのか楽しみです。稲の束を学校まで持って帰るのが大変でした。(M.S)

☆かまを使ったことはあるけれど、稲刈りは初めてでしかも稲を切るかまは、とてもすどくてきけんだと感じました。最初は怖かったし、田んぼの中がぐちょぐちょしてとてもいやでしかたなかったけど、お手伝いしてくれたボランティアのお母さんが「うまくなったね」とほめてくれたこともあり、とても楽しくできました。(M.I)

☆日本刀のように切れてしまうあぶないかまを使って稲刈りをしました。田植えの時よりも稲のくきがかたく丈夫に育っていて、なかなか刈ることができず、むずかしかったです。自然観察では、田んぼの中に生えていたアメリカセンダングサのかれた花が服にくっつくことを教えてもらったり、ほかにもいろいろな生き物がたくさんいたので谷津田を大切にしていこうと思いました。(H.K)

■あすみが丘小学校

☆私は、今日稲刈りをしてわかったことがあります。一つは、稲刈りで大きなけが、最悪死に至る場合

があることです。私は、実際に稲刈りをして足にカマが当たりました。でも、ズボンをはいていたのでけがもせずに助かりました。二つ目は、稲一本に三百種類程の微生物がいる事がわかりました。持って帰るとき、一本一本の稲を大切に持って帰りました。あと、田んぼに入るときも何十億の微生物を殺していると感じたので、今日入るとき、改めて田んぼに入れるありがたさを思いました。三つ目は、赤ガエルが絶滅危惧種だということです。原因は、手や足にきゅうばんがないから、コンクリートに落ちた時、はい上がれないからだそうです。四つ目は、見えない所などに虫がいっぱいいる事です。私は、「ひし」というコウモリのような形をしている石のような実を見つけました。今日はたくさんの保護者の方やYPPの方などが手伝ってくださいました。その方々のおかげですすみ田んぼができていたことがわかりました。あすみ田んぼができることをうれしく思います。(R.K)

☆今日は稲刈りをするために「カマ」を使いました。「カマ」は刃の先が鋭くて、のこぎりのような感じでした。けがをした人もいたそうです。稲を刈るときは少しこわかったけど、大人の方が助けてくれたのでけがをしませんでした。「たくさんにとって良いよ」と言われたので、14本もとることができました。自然観察では、ひかりちゃんが特大サイズのバツタをつかまえました。網では、親子のバツタをつかまえました。親のバツタの上に子どものバツタが乗っていました。ほかにはスズムシがいました。とてもはやくてつかまえられませんでした。アカガエルは絶滅危惧種になっているそうです。理由は、きゅうばんがないので、コンクリートにはいのぼれないからです。帰りは、ひかりちゃんと落ちていた束や米粒を拾いました。楽しかったです。次はだっこくをするので、がんばりたいです。(M.K)

☆私は、10月4日金曜日にあすみ田んぼ(稲刈り)をしました。最初、私の紅組がさきにやりました。金谷さんが説明をしているとき、意外と簡単かな?と思いました。そして、浅いところと深いところに分かれてスタート! 私は、浅い所に行ってやりました。そして、ボランティアのお母さんとやりました。

私は、鎌で切る力が弱かったり、手が小さいからということで、ちょっとずつ稲を分けて切りました。いつも、草取りなどで小さな鎌なので、今日初めて大きい鎌を持ちました。足が切れないか心配でゆっくりやっていました。結局、足を切りませんでした。良かったです。自然観察では、春と夏よりも虫が少なかったです。虫はドジョウなどがいました。植物はみどり米、栗の木などがありました。楽しかったです。家庭科で米を使うので、いっぱい取れて良かったです。7月の草刈りよりもとても大きくなっていて、実もできていたのでとてもびっくりしました。今度5年生になる人もいっぱい取って欲しいです。早く家庭科で作って、早く食べたいです。今度の脱穀もとても楽しみにしています。今日の稲刈りは心配もありましたが、とても楽しかったです。(M)

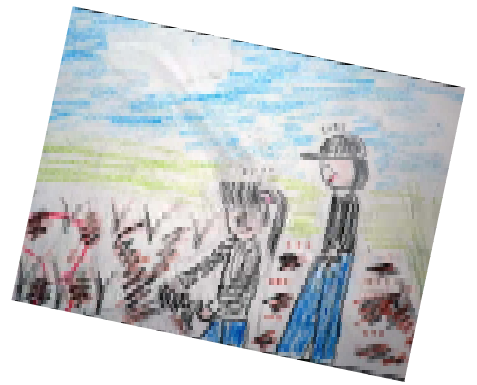


☆ぼくは初めて稲刈りをしました。最初に金谷さんの話を聞きました。そして鎌で間違えたらけが人が出てしまうというおそろしいことがわかりました。簡単に稲が切れると思ったら意外と固くて難しかったです。すごく足が泥だらけになりました。でも、鎌でケガをしなくて良かったです。次に、自然観察をしました。この間行った時より生き物が減っていました。アメリカンなんかとかという服にくっつく植物がありました。緑米や黒米を、一粒ずつ食べました。あとから味がして甘くておいしかったです。他にもザリガニなども見れました。帰りは稲を持って帰りました。稲を一本落とすだけで何個もの命が無駄になると聞いたので、落ちていた稲をいっぱい拾いました。本当にケガがなくて良かったです。(K.S)

☆わたしは自然観察でキレイな花をいっぱい見つけたので書きます。においては、ほんのり甘い感じでした。感触は花びらがうすくて、つやつやしていました。見た目ははなやかで、花びら5~7枚ぐらいありました。大きさは5センチくらいで、葉っぱの表面はつやつやしていて、裏はざらざらしていました。他にも、オオイヌノフグリや三つ葉や四つ葉のクローバーもありました。六つ葉もありました。黄色の花の方は秋って感じがしました。ピンクの花は舐みたいけど、赤が少し入っていたことで秋らしさも感じさせました。私は他の花も見ましたが、この2つの花がとても気に入りました。本で花の名前を調べてみたいです。ピンクの花は1本ずつ咲いていて、黄色の花はくきに何個も花がついていました。オオイヌノフグリはポツンポツンと咲いていたけれど、上から見ると、いっぱいあるように見えてきれいでした。自然観察がとても楽しかったです。(M.S)

☆私は今年初めてお米を収穫しました。最初はかまがこわくてあまり力を入れられなくて、お母さんたちに手伝ってもらっていたけど、どんどんやってくるとだんだん慣れてきて、一人でもできるようになりました。でも、足がどろみみれで一歩づつ進んで行くと、「ぐちゃ」というので少し気持ち悪かったです。でも、私が刈った稲はとてもたくましく立っていていいなと思いました。手伝いに来てくれたお母さんたちが稲のしぼり方などを教えてくれたので良かったです。学校に帰るときは、稲をかついで帰るのですが、坂道などを歩くときはとてもきつくて大変でした。でも、学校に帰ってきて干してある稲を見て、「米作りをして良かったな。ちゃんとりっぱなお米になってよかったな」と思いました。そのお米でおにぎりを食べてみたいです。私がいつも食べているお米は農家さんが長い期間をかけて、大切に作り育てられているのだなと感じました。改めてお米の大切さを学んだ一日になりました。(S.M)

♪ あすみが丘小学校の皆さんが描いた稲刈りのイラスト ♪



里山たんけんレポート

第 165 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2013 年 10 月 6 日 (日) くもり

とんぼの先生互井賢二さんを迎えてトンボ中心の観察会を行いました。どんよりした今にも降り出しそうな天候でトンボは姿を見せてくれなのではないかと心配でした。谷津が広いので先月に引き続き B ブロックを全員で調査することとしました。トンボの見分け方、特にアカネの仲間、雌雄の見分け方のポイント、アキアカネ・ナツアカネなど腹部裏が銀白色になっているのは成熟した雌の証であることなどの解説をしていただいてから出発。特記はカトリヤンマが観察されたことでした。さすがは互井先生、林縁で雄の個体であることを目視で確認。生きた個体が観察されたことは下大和田では初めてです。(2012.12.2 に死骸を拾って写真で記録あり) カトリヤンマはオオアオイトトンボがいるような土水路がある暗い林縁などに生息していることでした。また、先月、マーキングしたトンボがひとつも観察出来なかったことは不思議でした。

今日のトンボ観察結果は 9 種 88 頭でした。終日、モズが高鳴き、アマガエルが鳴いていました。

(参加者 大人 6 名、高校生 5 名; 報告: 網代春男)

第 153 回下大和田 YPP「古代米の稲刈り」(第 10 回米づくり講座) 2013 年 10 月 27 日 (日) 晴れ

台風 27 号の影響で 1 日延期になった古代米の稲刈り。晴天にはなりませんが、雨の影響で田んぼは水位が高く膝上まである深田用の長靴でないと入れない状態でした。緑米は育ちも良く作業のし甲斐もたっぷり。刈り残し、束ね残しが出ましたが 28 日には全部終了しました。用意したおだは隙間なくびっしり稲束が掛けられました。今年はスズメの群れが来て隣のマイ田んぼで育てた 10 種類の種籾用稲と丸い田の緑米はすっかり食べられてしまいましたが YPP 田んぼは 3 体のかかしのおかげでしょうか、無事でした。干している間に食べられないように鳥除けテープを張って終了しました。山はドングリが豊作でいっぱい落ちています。子ども達はドングリを集めたり遊びに夢中でした。大人もドングリを集めて山の上の広場に蒔きました。



最後に記念撮影 (撮影: 田中正彦)

(参加者: 大人 13 名、こども 1 名、幼児 4 名; 報告: 網代春男)

第 98・99 回小山町 YPP「稲刈り・脱穀」

2013 年 10 月 13 日 (日) 晴れ・10 月 20 日 (日) 雨

真夏日になるような季節外れの暑さが一段落した 13 日は、秋らしい快晴に恵まれました。ホームページを見て遠路かけつけてくださった久しぶりの初参加の方々を迎え、黒米の稲刈りとコシヒカリの脱穀をしました。穏やかな日だまりに足踏み脱穀機の音が響いていました。

20 日はあいにくの雨。稲刈りが残っているので少しでも進めようとオダづくりなどをしましたが、残念ながら雨脚が強くなってきたので短時間で撤退しました。

その後、平日、週末と有志の方々が稲刈りや脱穀を進めています。何とか 11 月中に作業を終えないと・・・

(参加者: 13 日 大人 8 名、子ども 1 名、
20 日 大人 2 名; 報告: 高山邦明)

足踏み脱穀機を 2 台並べての作業です (撮影: 齊藤薫)



<谷津田・季節のたより>

小山町

10月13日 田んぼにたくさんの赤とんぼが飛来して産卵。ナツアカネ、ノシメトンボ、マユタテアカネなど。ツクツクボウシが1匹鳴いていた(高山)。

10月27日 今季はじめてジョウビタキの声を聞く(高山)。

下大和田

10月6日 観察会時アブラゼミがまだ鳴いていた。終日モズが高鳴き、アマガエルが鳴いていた(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼下大和田 YPP 154回「緑米の脱穀」(兼第11回米づくり講座) 同 155回「モミすり」(兼第12回米づくり講座)

今年最後の田んぼでの作業、緑米の脱穀をします。稲の乾燥具合や天気によって日程が変わる可能性がありますので、当日や前日の天気が悪い場合はご注意ください(このホームページで前日にはお知らせします)。そして、今年収穫したお米のモミすりをします。モミすりは田んぼから離れた場所で行いますので、参加をご希望の方は事前にちば環境情報センターまで電話ないしはメールにてお知らせください。

日時: 脱穀 2013年11月9日(土) 10~14時 ☆天候次第で変更の可能性あり

モミすり 2013年11月16日(土) 10~14時 ☆雨天でも実施

場所: 脱穀 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

モミすり 千葉市若葉区野呂 千葉市農政センター

集合: 脱穀 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

モミすり 千葉市農政センター正門前(バス停そば)に9:45

持ち物: 弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物など。

参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第167回 下大和田 12月の谷津田観察会とごみ拾い

初冬の谷津はコナラ、クヌギなどの黄葉で彩られます。また、冬鳥到来の季節です。鳥の声を聴きながら、黄葉で彩られた谷津を散策します。

日時: 2013年12月1日(日) 10~12時 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(下大和田 YPP に同じ)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼第101回 小山町 YPP「脱穀・モミすり」

収穫したお米の脱穀(足踏み脱穀機を使用)やモミすりをします。

日時: 2013年11月17日(日) いずれも10:00~12:30、小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物など。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

編集後記 長く続く残暑、10月に入ってからの真夏日、相次ぐ台風の襲来と激しい気象が続きました。そんな異常気象の影響を受けてか、今年の稲はいつまでも青々としていたり、稲刈り前から「ひこばえ(稲株の脇から出てくる新しい葉)」がたくさん出てきたりと例年とはちょっと変わった様子ですが、ほぼいつもどおりの収穫になりそうです。下大和田も小山も稲刈りから脱穀、モミすりや米づくりの最後の作業に追われています。今年を振り返りながらの収穫祭を楽しみにあとひとがんばりです。(高山 邦明)